

御嶽山(筑前大島)

祭祀遺跡調査行

八月八日十日の三日間に巨峰であり、古く「オタケ」とり、筑前大島御嶽山祭祀遺跡の予備調査を文化財管理事務所が行った。



御嶽山は、当社社の一、神津に位置し、島の中央部にそびえる標高二七米と、島の最高

品氏、土器類である。須磨器は破片であるが、大形、長細、器、杯、鉢等の出土も、奉獻品のセツが確認された。

辻八幡神社(末社)

参道修復工事終る

去る七月八日の夜より、末社地帯に近年に於ける豪雨に因り、二〇〇メートルに及ぶ雨

この修復工事に伴って、以前より境内地に、旗竿の揚台設置の計画があったが、今度氏子中

この様な教育が行われているのを一つ挙げよう。この一は、誠に残念なことで、と云うことである。

宗像青年会議所 創立五周年記念講演 (七) 日本的心 — その故郷の地にて — 黛 敏 郎

宗像大社

第十一回西日本菊花大会開催要項決定

宗像の秋を彩る西日本菊花大会は本年度も規模をさらに大きくして、第十一回大会が十月十日より十一月十日迄大宮市内に於いて開催される。

花を愛するゆとりある人々心を育成し、豊かな家庭和みのある地域社会を平和な国家建設の一助にすることを目的とする。

主 催 宗像大社菊花会 (会長 高屋原吉夫 外役員 理事十一名 会員十八名)

出席要約三点 審査員 栗山隆明氏 (真國会研究所長)

五米とする。花壇の別花の位置は柱の内側より前花の外側五十五釐とす。

歌ですが、唯それだけではありません。この松の老いに託して、作者自身も心の小唄も歌っているのです。



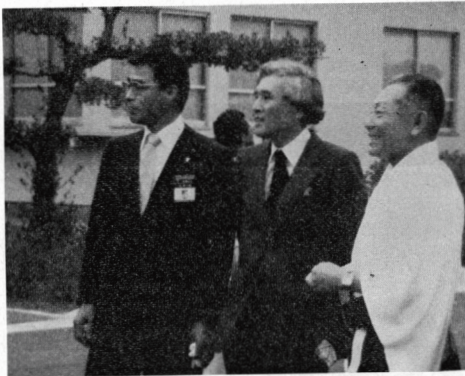
修復なった参道



水害にあった参道

華山作品は次の二段階とす 大作感(二米七寸 赤白) 西三鉢組 中作感(二・五以下 赤白) 一花二作のり、一スパン二つの展示場所を遵守する。

この様な教育が行われているのを一つ挙げよう。この一は、誠に残念なことで、と云うことである。



宗像青年会議所 創立五周年記念講演 (七) 日本的心 — その故郷の地にて — 黛 敏 郎



穂

山の氷削に切き、神の寺

津屋崎 熊本 津 津屋崎 熊本 津

留守屋の堀一八盆の月

田熊 安部 ゆき

八幡西 磯谷 緑南

宗像大社歌会 俳句作品集(三三)

福間 広渡一寿軒

宗像郡考古学散歩

勝浦 41 号墳 (2) (津屋崎町勝浦所在)

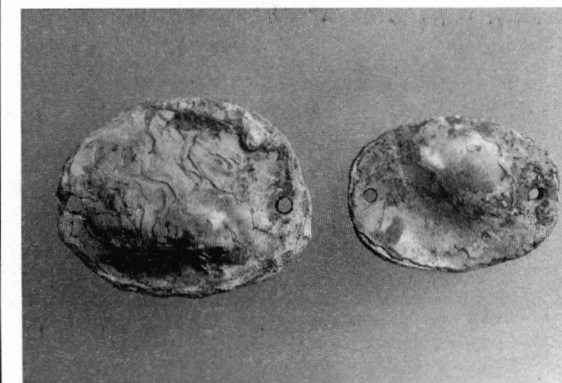


鐘崎民俗誌 その三十五

楠 本 記

海女漁 (その十三) 鐘崎海女についての文献は、輪島に渡した海女の記録のほか、さとのものは、八月初旬に...

さて発掘された遺物は、うろか、盗掘を受けていたわけが、残存した遺物も種々...



分田調査記録として、まどめれ中に、はつきり、〇号墳は、一頂上には木を伐採して現在樹木なし、盗掘なきよとあり、四...

「とり遺水菓はかき寄方でも備関係が明かされ、対馬島の浦に鐘崎海女があったところからみて、はつきりして麗れた人の墓であろうと思われ...

おせむ海はむかともあからに成功するまでは、真珠は鹿から得ていたもので、これが貴重なものであったが、沖ノ島発掘物のなかには真珠玉が一個あり、...

本郷吉がアコヤ貝に真珠採取に成功するまでは、真珠は鹿から得ていたもので、これが貴重なものであったが、沖ノ島発掘物のなかには真珠玉が一個あり、...

宗像の蔵から 古文書の話 鐘崎の蔵に、古くは、秋風にか吹花の告日するの、...

宗像の絵馬 徳満神社 徳満神社は、このように筑前、思われ。筑後、豊前、三河にわたって馬神として信仰をめぐらしている...

宗像の絵馬 徳満神社 徳満神社は、このように筑前、思われ。筑後、豊前、三河にわたって馬神として信仰をめぐらしている...

